

3歳児健診でむし歯のなかった子 ~4月から6月生まれの3歳児~ を紹介します

3歳児健康診査が、9月16日(金)に保健センターで行われ、平成31年4月から令和元年6月生まれの3歳児が健診を受けました。そのうち、むし歯のなかった5人を紹介します。乳歯は生え変わりますが、きれいな永久歯になるためには乳歯を健康にしておくことが大切です。毎日『食べたらみがく!』の歯磨き習慣を心がけましょう。



▲ふたば保育園 (写真左から)

大野 亘陽さん (仲 通)
庄司 明日佳さん (南 通)
高橋 聖愛さん (四日町)
伊藤 聡一さん (佐田町)

▲ふたば横山保育園

笹原 茉侑さん (田沢上)



正しい歯みがきができているか点検しよう!

3歳になると奥歯も生えて上下20本の乳歯が生えそろってくる時期です。また、親も子ども歯みがきに慣れてきて、お子さんが歯みがきを激しく嫌がることも減り、落ち着いて歯を磨けるようになってくるころでもあります。

毎日歯みがきができていても油断大敵!

正しい歯みがきができているか、あらためて点検しましょう。



した柏倉彩希さんは、「ばちの持ち方や立ち方を学びました。ぶちあわせ太鼓の1番と2番をできるようになったので良かったです」と話していました。

さんどこどっこい! 北小児童が和太鼓学ぶ

ふるさと塾「和太鼓教室」が、9月27日(火)に北小で行われ、5年生児童5人が雪国鷹巣太鼓保存会(延澤健治代表)のメンバーから和太鼓を学びました。これは、山形ふるさと塾推進協議会が地域文化の伝承を目的に実施している「ふるさと塾」を活用したもので、昨年につき、雪国鷹巣太鼓保存会の協力で行われているものです。

この日は、保存会のメンバーの指導を受けて、ばちの持ち方や立ち方、太鼓のたたき方などを学びました。参加

大石田中の生徒が 森林再生ボランティア活動

愛宕神社の森づくり事業」が、10月11日(火)に愛宕神社敷地内で行われ、地区住民や大石田中の全校生徒など約150人が参加しました。

愛宕神社では、昨年から地区住民や大石田中の生徒の協力で、敷地内の森の再生に取り組んでいます。この日は、地区住民や同校の全校生徒150人で紫陽花や杉の植樹を行いました。植樹した苗木などは、町民の皆さんからの寄付や、(公財)やまがた森林と緑の推進機構の「緑の募金公募事業」を活用し購入したものです。

また、今回は中学生に林業への興味を持ってもらいたいということで、山形県立農林大学校の生徒による授業の一環で、チェーンソーを使って木の間伐や枝打ちなどのデモンストレーションが行われました。間伐作業がはじまり、木が切り倒されると大石田中の生徒たちから歓声があがり、普段見ることができない林業の仕事に興味深そうに見ていました。

農林大学校で林業を学ぶ星川良一さん(鷹巣3出身)は、「大石田町は緑が多く自然に恵まれています。間伐が適切に行われている森林は、生育が良くなり、風や雪にも折れにくくなるメリットがあります。今回の植樹や林業デモンストレーションを通して、林業に興味を持ってくれる人がいれば嬉しいです」と話していました。

